

# 令和4 年度 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

作成日

令和5年3月31日

法人名

園名

抱茗会

めぐみ保育園

まとめ

全体平均

3.60

第2章第2節 乳児期の園児の保育	各項目で高い評価が出ている。各年齢にあった指導計画の作成、また各年齢の発達段階を理解し、個々の発達に留意したものをとりくむことができた。今後も継続して取り組んでいきたい。
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	生活習慣の取得にも個人差が大きく、またコロナの影響により欠席が多くなり、思うようにトイレトレーニングなどがうまく進めることができないことがあった。次年度は専門機関との連携を取るなど、また研修などで保育士室工場を目指し、適切な支援、保育ができるようにしていきたい。
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	コロナ感染拡大の影響を受け、行事の規模縮小や延期が多かった。中でも感染予防を徹底しながら、園児の姿に合わせ、その時々に必要な教育や保育を行うことができた。又同じくコロナ影響により園外へ出る機会が少なかったため、次年度は積極的に散歩など取り入れていきたい。
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	思い通りにならず泣いて泣く園児の様々な気持ちに寄り添いながら声掛けをするように努めた。又、言われたらいやなことはお友達にも言わないように繰り返し指導するように努めた。
第3章 健康及び安全	緊急時における対応がいきわたっていないという意見が上がった。知識として理解はしているが実際の場面に遭遇した時の対応に戸惑うことが想定されるため、園外へ避難するなど、避難経路の確認など検討していきたい。
第4章 子育ての支援	前年度よりコロナの感染拡大もあったが、保護者に対する支援など、出来る限り実施することができた。また、園児や保護者により良い支援が行えるように専門機関との連携も図ることができた。
第5章 職員の資質向上	園長、主幹、キャリアアップなどの研修を最低限実施することができた。しかしコロナの影響が大きく学級閉鎖の措置が取られたり、また保育士の人数に余裕がなく、その他の研修に参加させることが困難であった。次年度はコロナの考えも変わると思われるので資質向上を目指し、積極的に研修への参加を進めていきたい。
総合	コロナウイルスのため当園でもクラス閉鎖を行わなければならない状況に追い込まれた。このため多方面で影響を受けた。それでも園内の保育活動はそれなりにこなしてきたことがうかがえる。一方で園外に出る活動は著しい影響が出た。特に研修では本年度後半からやっとオンライン研修が始まったことから一部の人には研修に参加させることができたがそれでも不十分であった。又気になる子（グレーゾーン）も増えてきている。園でもその対応に関係各所と相談できるシステムは構築しつつあるがまだ不十分であると感じた。今後はコロナウイルスも収まると思われることから研修を強化するとともに、気になる子に対する対策も一層拡充する。

データ表

内容	項目数	平均
「乳児保育」	15	4.67
「3歳未満児保育」	32	3.36
「3歳以上児保育」	53	3.98
「教育保育の配慮事項」	16	2.81
「健康・安全」	29	3.14
「子育ての支援」	18	4.00
「職員の資質向上」	9	2.44
計	172	3.60

データグラフ

